

## 実証成果 トマトパーク（栃木県下野市）

**実証課題名** 施設園芸コンテンツ連携によるトマトのスマート一貫体系の実証

**経営概要** 1.93ha うち実証面積:0.85ha



**導入技術** ①改良版クラウドサービス ②光合成量推定ソフト  
③収量予測ソフト ④病害虫発生予測 ⑤環境多点計測によるムラ改善 ⑥環境制御機器IoT化 ⑦作業・安全管理記録 ⑧青果物流通 ⑨需要予測 ⑩経営分析・改善  
⑪燃油残量可視化 ⑫AI解析

**目標** 環境、生育、作業、流通、経営等を可視化するクラウドコンテンツを導入、コンテンツ及びデータ連携による相乗効果を図る。収量の10%増加、秀品率の5%増加、販売単価の20%向上、労働時間の約3%削減及び生産コストの3%削減



### 1 目標に対する達成状況

- 取り組み項目12項目は、順次、クラウド上で公開、2021年10月ごろまでに8項目公開または実装予定。
- 収量は、2017年53t/10aに対し、2019年は66t/10a（いずれの年も補光利用）、20%以上増加した。
- 総労働時間は、2017年32,561時間に対し、2019年24,182時間、25.7%削減した。

### 2 導入技術の効果

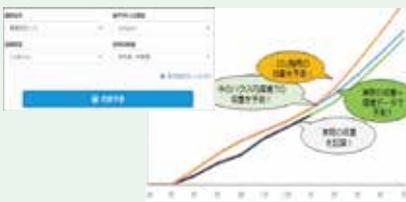
#### クラウドサービス改良

- クラウドサービス 2018年8月公開  
2020年2月改良版公開



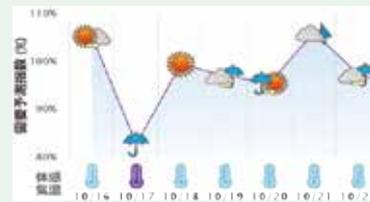
#### 収量予測

- 収量予測2019年9月公開  
2020年10月改良版限定公開



#### 需要予測

- 気象が消費活動に与える影響を予測  
2019年12月公開



#### 会計

- 会計ソフトとの連携 2019年11月公開



#### 燃油残量可視化

- タンク内の残油量がどこからでも容易に把握 2020年10月公開



#### アウトリーチ

- 取り組みの紹介 動画2本作製  
アクセス回数7,800回以上  
公開見学・web報告(合計2,000名以上)



### 3 事業終了後の普及のための取組

- これまで公開見学会、セミナー、web成果報告会など2,000名以上にご紹介、本実証紹介動画を農研機構及び誠和HPで公開(2019、2020年それぞれ作製)し、アクセス回数7,800回以上しており、引き続き普及に取り組む。
- ユーザの声をもとに、順次改良を行い、使いやすく、生産性を向上しやすいコンテンツにしていく。
- 取り組み12項目の残り3つも来年度中に公開予定。
- セミナー、講演会やイベントなど積極的に参加し、取り組み内容を紹介し、プロファイダークラウドを通じて利用拡大を図る。



**問い合わせ先** 施設園芸コンソーシアム事務局 e-mail:jimu-ConRenTom@ml.affrc.go.jp